

# Pass me!

パスミー!

# 06



美術館で活躍する  
対話型鑑賞  
ファシリテーターも  
育っています!

いよいよ美術館建設の工事がはじまりました!

## 県博 NEWS & TOPICS

01

「鳥取県立博物館所蔵版画セクション展」(仮)



当館の美術コレクションを県内ミュージアム施設などで出張展示する「移動美術館」。令和4年度は、夏休みの期間に合わせて、「キナルなんぶ」にて開催します。コレクションのなかから版画の優品をセレクトし、多種多様な表現や技法から、改めて版画の魅力を紹介する予定です。

会期 2022年7月23日(土)~8月7日(日) ※会期中無休  
会場 キナルなんぶ 多目的ホール(西伯郡南部町法勝寺341)  
時間 9:00-17:00  
料金 無料  
◀ 橋本興家《錦秋 姫路城》1951年/多色木版・紙/当館蔵

02

「すべてみせます!鳥取県立博物館の50年」(仮)



当館は自然・人文・美術の3分野を有する総合博物館として1972年に開館し、来年で50周年を迎えます。今回の展覧会では、半世紀にわたり収集されてきた貴重な資料を可能な限り展示し、博物館の根幹となる「資料収集」と「調査研究」の歩みをご紹介します。

会期 2022年10月29日(土)-12月11日(日)  
会場 鳥取県立博物館 第1,2,3 特別展示室  
時間 9:00-17:00  
料金 一般500円(団体・前売・70歳以上は300円)  
◀ 前田寛治《仰臥裸婦》1926年/油彩・キャンヴァス/当館蔵 ※記念すべき当館最初の美術コレクションです!

## MUSEUM NEWS

美術館の運営に関する話し合いを進めています

オンラインだけでなく対面での会議も重ね、県とSPC(美術館の民間事業者チーム)との協議がより活発に! 美術館運営などの情報は、今後も本誌やFacebookなどで詳しくお伝えしていきます。



## 今号の運び人 passer

舞台は 鳥取県立鳥取中央育英高等学校 美術教室 〒689-2295 鳥取県東伯郡北栄町由良宿 291-1



開館に向けて鳥取各地を白い箱が旅します



『名探偵コナン』のまち北栄町で活動する「鳥取中央育英高校美術部」  
(左から)  
美術部員 3年生  
前 美里さん  
長谷川万桜さん

## Passer's Recommend

1 由良台場



遊具付きの公園や一面芝生の広場があって気持ちいいです。夏には水鉄砲と水風船で遊んでいます。(長谷川)

2 Codaのジェラート



木次牛乳を使った濃厚なジェラートがめちゃ美味しいんです! ビスタチオ&チョコが私のお気に入り。(前)

3 浜遊び



朝釣りは美術部顧問・伊東先生の日課なんです。浜辺は流木やシーグラス集め、トレーニングにも最適。(長谷川)



Q どんな活動をしているの?

A ●公募展に向けた作品を制作しています。1,2年生では針金や段ボールといった素材で立体作品を共同制作しますが、3年生からは、各々がつくりたいものに取り組んでいます。(前)

Q 鳥取県立美術館に期待することは?

A ●2学年上の先輩が、『Pass me!』と一緒につくるワークショップに関わっておられて、楽しそうでした。コロナ禍になり私たちは参加できませんでしたが、今後の『Pass me!』や美術館のワークショップに興味深々です。(前)  
●卒業後はふたりとも県外に進学する予定で、私は義肢デザイナー、前さんはガラス造形作家を目指しています。地元に戻る機会は減ってきてしまうと思いますが、いつか美術館に自分たちがつくった作品が並ぶ日が来たら、すごく嬉しいです。(長谷川)  
前さん・長谷川さんへのロングインタビューはWebメディア「totto」にて公開中!

鳥取県立美術館の新たな目玉になる、「美術を通じた学び」をサポートする「美術ラーニングセンター機能」。開館に向け、対話型鑑賞ファシリテーターを育成する活動も進行しています。今回は、専門員の佐藤さんに対話型鑑賞について伺いました。

## 対話型鑑賞の手引き

対話型鑑賞は、3人以上でスタートできます  
ファシリテーター1名 鑑賞者2名以上

1 みる

全員で、時間をかけてひとつの作品をじっくりみます。はじめて作品の前に立ったときの第一印象を大切に。



2 話す

キャプションなどの情報にとらわれず、絵をみて発見したことや感じたことを、素直に言葉にします。



POINT  
鑑賞者の言葉に合わせて絵の部分を示したり、言い換えたりするなど、ほかの鑑賞者にも理解できるように工夫を。対話の途中にできる沈黙も大切な時間です。

3 聞く

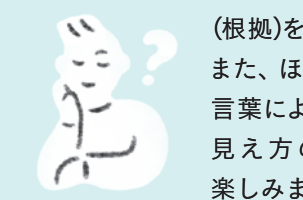
ほかの鑑賞者の言葉に共感したり、感じ方の違いを楽しんだりしながら、作品の見方を深めます。



POINT  
うなずいたり、思わず何かを言いかけたりする様子にも気を配り、対話をサポートします。うまく言葉にならない感じ方も、大切にしてお話を進めましょう。

4 考える

どうしてそう感じたのか、その理由(根拠)を考えます。また、ほかの人の言葉による作品の見え方の変化を楽しみましょう。



POINT  
対話をつなぎながら、鑑賞者一人ひとりが自分の感じ方を深められるような場づくりをしましょう。

Q 対話型鑑賞って?

作品をみて感じたり考えたりしたことについてのほかの鑑賞者と対話することで、みる人が主体的に作品の意味や価値をつくり出していく鑑賞法。作家の生い立ちや作品の制作方法・年代といった情報をもとにするのではなく、先入観なく作品と向き合い、自分の目でしっかりみて、その良さを味わうことを目指します。

Q ひとりで鑑賞するのとどう違うの?

対話を通して鑑賞することで、自分の感じ取ったことが明らかになったり、自分だけでは気づかなかったことに気づいたりして楽しく鑑賞できると同時に、思考力やコミュニケーション力も鍛えられます。当初は子ども向けの鑑賞法として開発されましたが、近年は教育カリキュラムとして学校だけでなく、企業研修や医療現場など、社会のなかで広く取り入れられています。

Q 対話型鑑賞のファシリテーターって?

複数人での鑑賞を深めるためのナビゲーターのような役割。鑑賞者の言葉をよく聞いて伝えたい内容を理解し、ほかの鑑賞者の言葉とつなげたり、より共有しやすい言葉に言い換えるなど、対話の交通整理を行います。ファシリテーション力は、美術の分野のみならず、さまざまな場で活用できる力です。



教育普及担当専門員 佐藤真菜

「とつとりの未来をつくる」美術館が生まれます!

おしえて! 佐藤さん!

## 美術館で対話型鑑賞のファシリテーターに挑戦してみませんか?

小学生対象の対話型鑑賞の場で活動していただける方を募集中! 登録いただいた方には、養成研修の開催や企画展でのファシリテーションなどをご案内します。

登録のお申込み・お問い合わせ  
鳥取県立博物館 美術振興課  
TEL : 0857-26-8045  
メール : hakubutsukan@pref.tottori.lg.jp

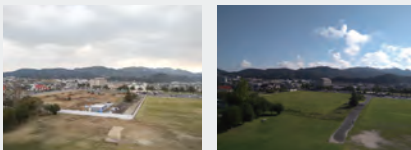
# HISTORY OF MUSEUM

2021 (R3)

6/26

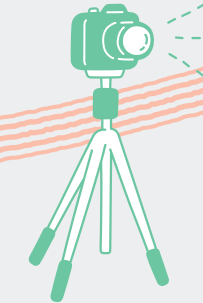
## 鳥取県立美術館建設地 定点観測プロジェクトが始動

美術館ができるまでの待ち遠しい時間をみんなで楽しむ取り組みとして、定点観測プロジェクトが本格始動。これから建築が完成するまで、参加者とともに建設地を定期的に撮影・記録していきます。定点観測写真は、鳥取県立博物館美術部門学芸チームのインスタグラムでも公開中!



2021年6月～2022年2月に  
インスタグラムで公開した写真(一部)

プロジェクトへの  
参加はこちらから



7/3

## 倉吉未来中心でワークショップを開催

アートで「地域を盛り上げること」を目指して、倉吉未来中心、鳥取短期大学、鳥取県立博物館の共同で、体験型の子ども向けワークショップを開催しました。学生によるサポートのもと、特殊な色紙を使った色水の作品を制作し、七夕の短冊とともにアトリウムに展示。完成後には、サブライズのミニコンサートも開催されました。



ビニールチューブに色水をつくる 色水で飾りつけられたアトリウム

企画運営担当者



生田由紀子さん  
(公益財団法人  
鳥取県文化振興財団倉吉未来中心)

企画、広報、運営に至るまで対話を重ね、実現した共同企画でした。運営に携わった学生さんたちにとっても、地域の方々と交流できる貴重な機会になったと思います。当日は、子どもたちがアトリウムの大空間を思いっきり楽しむ姿が印象的で、これからの地域連携事業の可能性を感じました。

7/17~

## 夏の展覧会が開会! しかしイベントは相次いで中止や延期に

夏に予定されていた展覧会は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行い開催。教育普及のイベントは、中止や延期、内容を変更するなどの工夫を迫られました。

### Collection Recommend

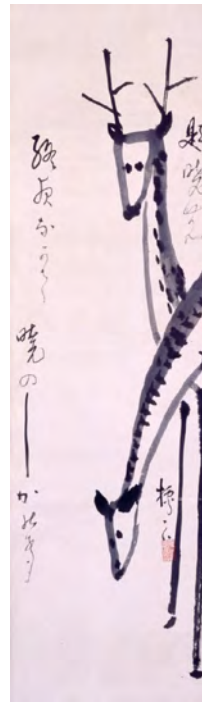
頑張りすぎている 人に  
おすすめの名作  
みづらちよら 三浦博良 《双鹿図》  
江戸後期／紙本墨画／石谷コレクション



学芸員 山田修平 選

鑑賞者の反応を「カワイイ」と「へたくそ」に分ける元祖脱力系の問題作。力が抜けた線と大胆な構成は、お茶目でありながらどこかオシャレ。頑張りすぎているそのあなた! ときには力を抜くことも大切です!

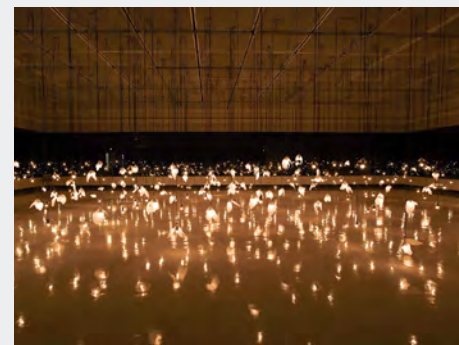
解説 三浦博良(1729-80)は志摩国出身で、蕉風中期を代表する俳諧師。与謝無村らとも親交を結び、後半生の20年あまりを旅のなかに過ごした。本作にも「終夜(よもすがら)なかくて 暁のしかの声」の句が自賛されている。また、表装の一字に使われている更紗裂や、陶製の軸頭なども個性的で洒脱。小作ながら味わい深い。



8/29

## 美術をめぐる場をつくるIII 「瀧澤潔 鳥取県立博物館のための インスタレーション2021」開幕

夏休み企画シリーズ3年目。場所のイメージや特徴から着想を得て作品を制作するアーティスト・瀧澤潔さんがゲストです。作品のなかを自由に歩きまわり、「没入」する体験型の作品がお目見えし、SNSでも大きな話題に! 多くの反響を得て、来年度には山形県・鶴岡アートフォーラムでも展示される予定です。



展示作品。鑑賞者が電球に紙のランプシェードをつけていくことで展示が完成する

9/24

## 『Pass me!』 5号目発行!



9/26 ほか

## 「コレクション宅配便」、拡大中

2017年から続く名物事業がさらに展開中。当館の美術コレクションと一緒に学芸員も出張し、県民のみなさんと対話しながら鑑賞するので、「美術館が遠くても、充実した鑑賞体験ができる!」と好評をいただいています。これまで全20か所に出張し、2021年は新たな場所へも活動を展開しました。



9月26日  
上小鴨コミュニティセンターにて



11月2日  
三朝小学校にて

担当者



外村文さん(美術振興課専門員)  
鑑賞者と一緒にじっくり作品をみることを大切に鑑賞活動を行っています。作品の見方は人それぞれ。お話ししながら鑑賞することで、新たな気づきや発見が生まれ、自然と対話がはずむ心地よい時間が流れます。これからも、一人ひとりの見方や感じ方を大切にしながら、一期一会の出会いをお届けしていきたいです!



10/14・22 ほか

## 小中学校での普及事業も 続々展開

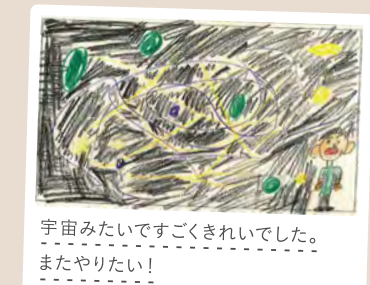
「コレクション宅配便」のほかにも、学芸員が館を飛び出して行う講座や体験型プログラムも積極的に実施しています。学校や各施設の担当者と相談しながら、多様なアートに触れる機会を提供。館外での普及事業は、新美術館開館後も大切な普及事業として継続予定です。

## アーティスト・デザイナー による出張授業

「ポスターをつくる授業がしたい!」「卒業記念になる作品をつくりたい!」など各学校からの依頼を受けて、デザイナーやアーティストによる出張授業を開講する取り組み(年間2件程度)を続けています。専門家によるレクチャーが受けられるほか、その職業や人柄にも触れられる機会として大好評。今年度は、デザイナーの三宅航太郎さん、鳥取因幡焼作家の三木健太郎さんに協力いただきました。



いろいろな色を使っておもしろい!



宇宙みたいで素敵でした。またやりたい!

## 学芸員 による出張講座

より美術に親しみを持ってもらう取り組みとして、学芸員が学校や各施設へ向かい、鳥取ゆかりの作家や作品についてのレクチャー、体験型のワークショップなどを行います。10月には、当館教育普及担当が船岡小学校に訪問し、光る絵具を使ったペインティングや造形遊びに関する授業を実施しました。



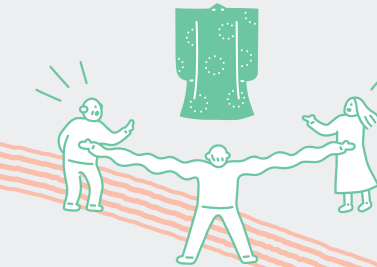
三木健太郎さんによる陶芸の授業

古川正樹さん  
(名和中学校美術科教諭)  
ダメもとで博物館にお願いしましたが、実現しました! 生徒たちは「デザイナーって、そこまで考えてくるんだ」など新鮮な驚きや発見があったようです。さまざまな分野で児童・生徒が本物に触れられる貴重な企画。思い立ったら相談! 全力でアーティスト・デザイナーを探してまいりますよ。



三宅航太郎さんによるデザインの授業

さまざまな「アートとの出会いの場」を提供しています!



10/30・11/6

## 対話型鑑賞に関する講座を 2週連続で開催

作品鑑賞をする際に重要な役割となるファシリテーター養成のための講座を定期的に行っています。

## 対話型鑑賞について、詳しくは中面にて!



アートスタジオなたね代表・藤田妙子さんによる講座の様子

講座の様子は、[tottoWeb](http://tottoWeb.com)サイトにて公開しています。



11/22~12/8

## 作品鑑賞のファシリテーション 演習がはじまる

小学生の授業来館を想定し、展示鑑賞を案内するファシリテーター養成講座を開始しました。企画展開催に合わせ、一般の参加希望者や学生たちが案内役を担当。実践を通して、美術館での充実した鑑賞体験を実現させるための仕組みづくりを考えました。



企画展「東郷青児と前田寛治、ふたつの道」会場で行われた対話型鑑賞の様子